

各関係機関の長
各病虫害防除員 殿

宮崎県病虫害防除・肥料検査センター所長

平成 2 9 年度病虫害発生予察注意報第 4 号について

平成 2 9 年度病虫害発生予察注意報第 4 号を発表したので送付します。

平成 2 9 年度病虫害発生予察注意報第 4 号

平成 2 9 年 8 月 2 1 日

宮 崎 県

病虫害名 斑点米カメムシ類
作物名 普通期水稻

1. 発生地域 : 県内全域
2. 発生時期 : 出穂期
3. 発生程度 : 多
4. 注意報の根拠

- (1) 8 月中旬 (8 月 9 日～15 日) の巡回調査における本田での斑点米カメムシ類は、発生面積率 17.1% (平年値 4.8%)、20 回すくい取り 1.20 頭 (平年値 0.07 頭) で、平年より多い発生であり、地域によっては特に密度の高い圃場もみられる。
- (2) 斑点米産出能力の高いクモヘリカメムシ、ホソハリカメムシ等を確認している。
- (3) 本虫による被害は品質を著しく低下させ、等級格下げの重要な要因になる。
- (4) 今後も気温が高い状態が続くと予想されている (鹿児島地方気象台 8 月 1 7 日発表 1 ヶ月予報) ことから、カメムシ類の活動に好適である。

5. 防除上の注意

- (1) 防除時期は穂揃期とその 7～10 日後の 2 回防除が基本であり、高密度の場合はさらに追加防除が必要である。
- (2) 本虫は移動性の高い害虫であり、広域の集団一斉防除に努め防除効果を高める。
- (3) 薬剤等その他の詳細については関係機関に照会すること。また、周辺作物の栽培状況等に留意し、地域全体で農薬のドリフト防止に努める。

●その他詳細については、西臼杵支庁・各農林振興局 (農業改良普及センター)、総合農業試験場、病虫害防除・肥料検査センター等関係機関に照会してください。

●6 月 1 日から 8 月 31 日の 3 ヶ月間、農薬危害防止運動を実施しています。農薬散布にあたっては、ラベル表示の確認を十分に行い、農薬使用基準を遵守し、危害防止に努めましょう。

宮崎県病虫害防除・肥料検査センター 黒木

TEL : 0 9 8 5 - 7 3 - 6 6 7 0

Fax : 0 9 8 5 - 7 3 - 2 1 2 7

E-mail : byogaichu-hiryo@pref.miyazaki.lg.jp